

アレックスの チャタヌーガ便り Vol.1

新コーナー!

米国チャタヌーガ市と遠野市の交流を紹介!



国際化推進支援員
アレックス・ヒューイさん

私は遠野市教育文化振興財団で国際化推進支援員として働いているアレックス・ヒューイといいます。米国テネシー州チャタヌーガ市出身で、昨年9月から遠野市に住んでいます。国際化推進支援員は、遠野の情報を海外へ発信したり、国際理解講座や小学校の外国語指導のお手伝い(ALT)、中学生を対象とした英会話サークルなどを通して、市民の皆さんに海外に親んでもらう仕事です。

このコーナーでは、今年度に予定されているチャタヌーガ市と遠野市の姉妹都市提携に向けて、私が両市の交流を紹介します。よろしくお願ひします。



上/達首部保育園で英語のプログラムを実施 左/上郷小学校でALTとして授業に参加

4月17日 ホップの株植え体験

土淵小、ホップ栽培に挑戦!

土淵小学校5年生21人は、総合学習の一環で遠野の名産であるホップの株を校庭に植えました。地元ホップ農家の安部純平さん(61)からホップの植え方を教わると、生徒は一生懸命作業にあたっていました。ホップは夏の日よけとして活用。収穫後のつるは、ホップ和紙やリースとして活用される予定です。



安部さん(右)が植え方のコツを伝授

4月18日 林野火災消火活動に協力

延焼防止に感謝状贈呈

10日に綾織町で発生した林野火災で、消防隊の消火活動に協力し、延焼を防いだとして筑波ダイカスト工業(株)遠野工場に市消防本部から感謝状が贈られました。発生時、従業員総出で初期消火と車両誘導に尽力。川崎謙信工場長は「大事に至らなくて良かった。今後も火災防止に努めます」と語りました。



消防長から感謝状を受け取った川崎さん(右)

4月6日 春の交通安全運動・地域安全運動出発式

防犯と交通安全を誓う

出発式はあえりあ遠野で行われ、市交通安全対策協議会や市防犯協会連合会の関係者ら約130人が啓発活動への決意を新たにしました。出発式では、新1年生代表の今淵奏也君と平賀成美さん(いずれも遠野北小)に、交通安全・防犯グッズを贈呈。2人は「気を付けて学校に通います」と元気に誓いました。



新1年生に啓発グッズが手渡されました

4月13日 鯉のぼりと幼児用前掛け贈呈

国体のぼり旗を有効活用

遠野地域子育て支援連絡会クレヨン(佐々木利子会長)は、鯉のぼりと前掛けを子育て総合支援センターへ寄贈しました。鯉のぼりと前掛けは、昨年開催されたいわて国体の協賛のぼりを再利用し、会員11人で作成。鯉のぼりはわらすっこセンター前に掲げられ、前掛けは同所を利用する子どもたちのために使用されます。



鯉のぼり8匹、前掛け5枚が贈られました

3月21日 厚生労働大臣感謝状

重ねる貢献に感謝状

熊谷忠さん(附馬牛町)は、日本赤十字社に多額の寄付を行ったとして厚生労働大臣感謝状が贈られました。熊谷さんは平成15年にも同様の功績で感謝状を受けており、今回で2度目。伝達式はとびあ庁舎で行われ、本田市長から感謝状が手渡されると「全国の困っている人のために役立ててもらいたい」と思いを語りました。



感謝状が贈られた熊谷さん(右)

4月13日 緑のふるさと協力隊着任式

15人目の協力隊員着任!

NPO法人地球緑化センターが派遣する「緑のふるさと協力隊」として着任した北道梓さん(31)がとびあ庁舎を訪れ、本田市長に着任のあいさつをしました。北道さんは兵庫県出身で、中国・大連のホテルでの勤務経験もあり語学が堪能。「遠野の伝統芸能や食文化を学びたい」と期待に胸を膨らませていました。



本田市長に意気込みを語る北道さん(右)

第71回盛岡市内一周継走 遠野中の選手、大活躍!

陸上シーズンの到来を告げる盛岡市内一周継走大会(岩手日報社など主催)は4月16日、県営運動公園陸上競技場(盛岡市)を発着点とする周回コースで開催され、遠野の選手が大活躍しました。

中学生の部では、遠野中女子が3位、遠野中の小原快都君が個人記録で1位にそれぞれ輝きました。

た。さらに、高校生の部では、遠野中のOB・OGも大活躍。盛岡誠桜の小田中亜美さん(3年)は女子個人記録1位の力走で、同校を優勝に導きました。また、女子準優勝の花巻東では及川誌月さん(3年)が、男子準優勝の専大北上では加藤希績君(同)が出場。それぞれ粘り強い走りを見せ、準優勝に貢献しました。



中学男子
個人記録 **1位**(585人中)
小原快都君
=遠野中3年=
タイム(3.8*)▷11分50秒

中学女子 **3位**(115校中) 遠野中学校

写真左から/菊池愛(3年)※個人記録3位入賞、菊池香好(3年)、松田心菜(2年)、菅田詩織(3年)



4月10日 家族らに囲まれ長寿を祝う

2人のヨシエさんが100歳を迎える

及川ヨシエさん(附馬牛町)と佐々木ヨシエさん(遠野町)の100歳を祝う会が開かれ、家族らが祝福しました。

及川さんは附馬牛町出身で、同町の清太郎さん(故人)と結婚。釜石の製鉄所で働きながら2男2女を育て上げました。この日は、ふれあいホーム附馬牛で100歳を祝う会が行われ、張山し踊りがお祝いに駆けつけました。及川さんは、しし踊りの太鼓や笛の音に合わせてリズムを取ったりと楽しげな様子でした。現在は孫ひ孫計15人と多

くの家族に恵まれ、自宅で穏やかに過ごしています。

佐々木さんは大槌町生まれ。農業の傍ら、保育施設で子どもと関わる仕事に励むなど、家計のために一生懸命働きました。遠野へは、東日本大震災をきっかけに移住。この日は、100歳を祝おうと自宅に家族や親せきらが集まり、佐々木さんは「頑張ってもっと長生きしたいです」と笑顔を見せていました。現在は娘の睦子さんとその旦那さんの三人で元気に過ごされています。

及川ヨシエさん
ふれあいホーム附馬牛にて



上/リズムを取る及川さん(右)
下/100歳を万歳で祝う佐々木さん(右)